

沖縄県を訪問した感想

網走市立第四中学校3年

井上 達也いのうえ たつや



私は7月の25日から28日までの間、私を含めた網走市の中学生6人と厚木市の中学生6人で沖縄県の糸満市を訪問しました。

1日目は朝8時から女満別空港に集まり、那覇空港に到着したときには16時頃でした。飛行機の移動はかなりつかれました。

その後、ガリガリおもしろに移動し夕食を食べました。「バクダン」と呼ばれるおにぎりや、熟していない緑色のバナナの房など北海道ではあまり見ることができないものもありました。

2日目では最初に沖縄平和祈念資料館にいきました。そこでガラスの下にある中身を取り除いた不発弾を見ました。その後、展示ブースへ行きました。そこでは戦争にかかわる歴史、戦争体験者が遺した文集などがありました。

その後、戦争体験者の久保田さんのお話を聞きました。お話では、草の生えている足元に3名の家族の遺骨があったこと、土地を奪われ移住をさせられた当時の状況や、沖縄県にはまだ大量の不発弾が残っており、その撤去にはあと100年程かかることなどのことから、二度と繰り返してはいけないことだと思いました。

その後に平和の礎を見に行きました。そこでは想像以上の犠牲者の名前が書いてありました。私はそれを見て、戦争は本当にしてはいけないことだと再認識しました。

次にひめゆりの塔を見に行きました。施設では、ひめゆり学徒隊に関わらず亡くなってしまう人もいて戦争は無慈悲だと思いました。

その後に糸満市役所の方に移動し、ワークショップをしたり夕食を食べたりしました。夕食はマンゴーやアグーバーガーと呼ばれるものや、手のひらサイズの小さいバナナなどを食べました。普段食べられないようなものを食べられてよかったです。

3日目ではおきなわワールドに行きました。鍾乳洞やエイサーのショーなど北海道ではなかなか見ることができないような体験をできました。

次に琉球ガラス村へ行き、ガラスづくり体験をしました。熱々でオレンジ色のガラスを近くで見ることができました。ガラス吹きはやることが単純で意外とできました。ガラス村の売店ではかなりの量のガラス作品やお皿、コップなどがありました。

その後に道の駅に行きお土産を買ったり、売っているものを見たりしました。

4日目ではDMMかりゆし水族館へ行きました。沖縄県の水族館といえば美ら海水族館ですが、逆になかなか行けないところに行けたと思いました。そこではドクターフィッシュとたわむれたり、近くで動物を見られたりと普通に楽しかったです。

そうこうしているうちに時間がせまり、厚木市のみんなと別れあつという間に女満別空港へ戻ってきました。

沖縄県を訪問して、歴史の授業では習わないような内容を2日目の平和学習で知ることができました。そして普段できないようなエイサーを見たり、マンゴーを食べたりという北海道ではできない貴重な体験でした。そして天候もあまり悪くならず、無事に帰ってこられてよかったです。今回は貴重な体験をさせて頂いて、ありがとうございました。